

## レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	進行再発大腸癌
レジメン	大腸mFOLFOX6療法

申請・改訂日	2008年7月
備考	

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	
がん化学療法レジメンハンドブック	

全クール																						
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	day14		
①		デキサメタゾン注	9.9mg	CVポート	15分		○													終了		
①		グラニセトロン注	3mg				○															
①		生理食塩液	50mL				○															
②		レボホリナート	200mg/m2	CVポート	120分		○															
		5%ブドウ糖液	250mL																			
②	○	オキサリプラチン	85mg/m2	CVポート	120分	④同時に開始	○															
		5%ブドウ糖液	250mL																			
③	○	5-FU	400mg/m2	CVポート	全開		○															
		生理食塩液	50mL																			
④	○	5-FU	2400mg/m2	インヒューサーポンプLV5	46時間	※総液量を224-226mLとする	○	○	○													
		生理食塩液	※																			
⑤		デキサメタゾン	8mg	内服		オプション		○	○													

投与量	オキサリプラチン	5FUBolus	5FU持続
開始用量	85mg/m2	400mg/m2	2400mg/m2
1段階減量	65mg/m2※	300mg/m2	2000mg/m2
2段階減量	50mg/m2	200mg/m2	1600mg/m2

※結腸癌における術後補助化学療法の場合は75mg/m2へ減量

## 投与開始基準

大腸FOLFOX(5FUとオキサリプラチン)

投与可能条件	好中球1500/mm <sup>3</sup> 以上、血小板75000/mm <sup>3</sup> 以上であれば、2コース目以降の投与可能
--------	---

## 減量・中止基準

大腸FOLFOX(5FUとオキサリプラチン)

副作用	程度	処置
好中球減少	G3以上	休薬、次回20%減量を検討
血小板減少	G3以上	休薬、次回20%減量を検討
消化器系の副作用	予防的治療の施行にもかかわらずG3以上発現した場合	休薬、次回20%減量を検討
肝機能障害	T-Bilが5mg/dL以上	5FUの投与中止